



2022年8月10日

各位

会社名 日本農薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩田浩幸
コード番号 4997 東証プライム
問合せ先 管理本部総務・法務部長 吉岡正樹
電話番号 03-6361-1400

インドにおける新規棉向け殺虫剤「ピリフルキナゾン 20WG」の農薬登録取得および販売開始のお知らせ

日本農薬株式会社（代表取締役社長：岩田浩幸、本社：東京都中央区、以下日本農薬）は、インドにおける提携先販社のひとつである Rallis India Limited（本社、インド、マハラシュトラ州ムンバイ）が、2022年3月15日付けでピリフルキナゾン 20WG 剤（商品名；CLASTO®/ZINGALA®）の登録を取得し、Rallis India Limited および当社子会社である Nichino India Private Limited（本社：インド、テランガナ州ハイデラバード）が同品目の販売を2022年8月より開始することをお知らせいたします。

ピリフルキナゾンは日本農薬が独自に発明した有効成分であり、既存薬剤に感受性の低下した難防除害虫であるコナジラミ類に対しても高い防除効果を示します。これにより日本国内では2011年の販売開始以来、コナジラミ類に有効な園芸殺虫剤として高い評価を受けてまいりました。

棉はインドにおける重要作物の一つであり、コナジラミ類はその重要な防除対象害虫となります。そのため、今般インドで農薬登録を取得したピリフルキナゾン 20WG はインドの棉栽培において新規かつ最良の防除資材の一つとなり、農業生産の向上に貢献するものと確信しております。

日本農薬は安全で安定的な食の確保と、豊かな生活を守ることを使命として、今後とも高い安全性と機能を備えた農薬の創出を通じて、社会に貢献してまいります。

以上

※「CLASTO®」は Rallis India Limited の登録商標、「ZINGALA®」は Nichino India Private Limited の登録商標